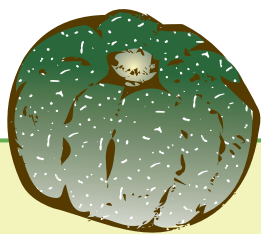


かぼちゃ



豊富な栄養で貯蔵性が高い野菜です



かぼちゃは、カロテンが豊富でビタミンB₁、B₂、Cも多い野菜として消費が伸びています。

山口県での栽培は、終戦後(昭和20年代前半)には行われていましたが、昭和30年代後半頃からだいに代わって、キャベツとともに栽培が広がっていきました。

また、当時の栽培品種は、「東京かぼちゃ」・「えびす」などが中心でしたが、平成7年頃からは甘みが強く粉質のくり系かぼちゃが増加しています。

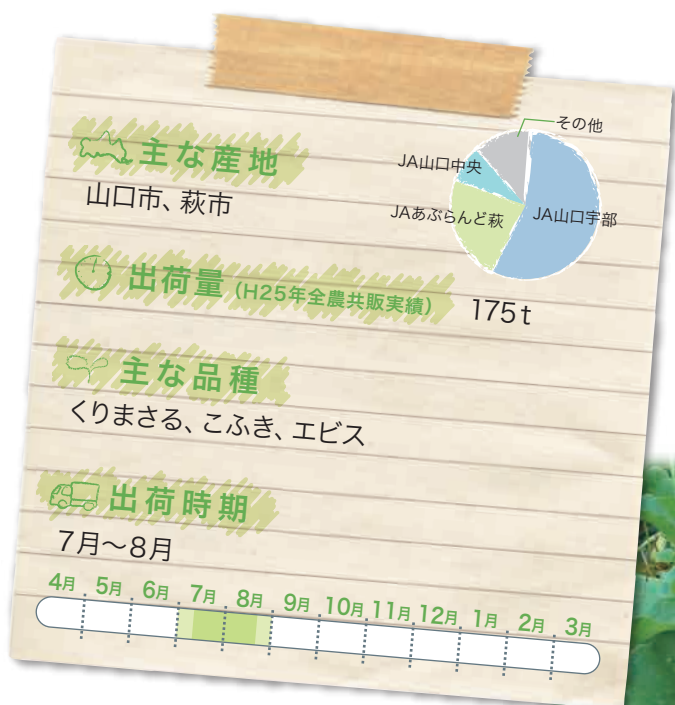
🍷 選び方

形が整っていて色むらがないもの。大きさのわりにはずっしりと重量感があるもの。

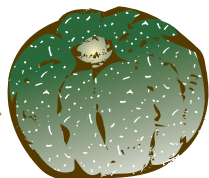
へたの茎部分が枯れ、タテにひび割れがあるものは完熟している証拠です。また、果肉の色が赤みをおびているものほど甘みがあります。

🔍 注目

「くりまさる」は、その名が表すように栗より糖度が高いことからその名前がつけました。甘さもさることながら、肉厚で煮ても崩れにくいといった特徴があります。



ずっしり
重たいものを



「くりまさる」は
栗より甘い!